

受験上想定される配慮例

1. 試験問題・解答用紙等に関する措置

- (1) 問題冊子の拡大印刷 (A4 → A3)
- (2) 解答用紙の拡大印刷 (教科により異なる)
- (3) 出願書類のワープロソフトによる入力
- (4) パソコン (申請者準備) による問題表示および解答入力 (PDF 化した問題冊子と Word 形式の解答用紙を配布)

2. 試験環境に関する措置

- (1) 別室 (個室) 試験室の設定
- (2) 室温調節可能な試験室の設定
- (3) 窓のない試験室の設定
- (4) トイレに隣接する試験室の設定
- (5) エレベーターが利用可能な試験室の設定
- (6) 洋式トイレに近い試験室の設定
- (7) 出入口近くの座席の設定
- (8) 長机又は特注機の設置 (特注機は申請者準備)
- (9) 車いす利用者向けの介護テーブルの設置 (申請者準備)
- (10) 体位固定用のマットレス・布団・枕・クッション等の設置 (申請者準備)

3. 試験時間・進行に関する措置

- (1) 試験時間の延長 (通常の 1.3 倍または 1.5 倍)
- (2) 監督者指示事項の文書伝達
- (3) 問題訂正・補足説明の文書伝達
- (4) 試験終了時の個別声かけ

4. 持込・使用許可

- (1) 拡大鏡・単眼鏡・ルーペ
- (2) デジタル置き時計
- (3) 付箋
- (4) クリップボード
- (5) 服用薬・飲料水・補食 (机上常備可)
- (6) 冷却器具・保冷ベスト
- (7) インスリン注射器 (試験時間中の操作可)
- (8) 血糖測定器
- (9) ペンタブレット
- (10) 車いす (電動含む)

5. 付き添い・介助に関する措置

- (1) 試験会場入口への乗用車での入構
- (2) 試験会場受付までの付き添い
- (3) 付添者の試験会場内での待機
- (4) 試験時間中の介助者の試験室入室 (申請者手配)
- (5) 試験時間外の介助者の試験会場入場 (申請者手配)

6. その他の措置

- (1) 申請内容の試験監督員への共有